

寺 報

善 巧

発行

〒938 富山県下新川郡
字奈月町浦山497
白雪山 善 巧 寺
☎字奈月 0765(65)0055

十月十九・二十日

報 恩 講

布 教 川 崎 順 正 師

十一月四日・五日

空 華 忌

記念講演 利井明弘師

二三日	真照寺 報恩講
二四日	雪ん子劇団富山公演
二六日	称名寺 報恩講
二七日	東狐・新浜・飯野 報恩講
二九日	板屋 報恩講
三〇日	田家・窪野・柳沢 報恩講
三一日	

一九日	午後一時	連夜
二〇日	午後七時	初夜
	午前七時	晨朝
	午前十時	日中
	午後一時	満座
布教	川崎 順正 師	

寺 報

十月

一日 お講 板屋

三日 野あがり落語会 入船亭
扇遊、古今亭志ん輔の真
打競演。開演は七時半。
会費千円。主催は宇奈月
夢を語る会。

一六日 お講 三日市



聞法の秋——ホンコサマに 空華忌に お参り下さい

来る十月十九日、二十日の両日、善巧寺本堂で報恩講が動きます。これは、皆様もよく御存知の毎年の行事です。

寺の報恩講が終わると、次はお仲間のお寺方の報恩講です。

内山・若栗・荻生・三日市・生地と、六ヶ寺を廻ります。

そして今度は、門徒報恩講廻りです。これが三月迄かかります。

十月から三月迄約半年間、私達は、報恩講に明け暮れするわけです。

「ホンコサマ」と、皆さんが口にする此の報恩講は、一体何なのでしょう。

文字通り恩に報いるということですが、どんな恩に、どんなに報いるのでしょうか。

「如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし、師主知識の恩徳も 骨を砕きても謝すべし」

親鸞聖人の正像末和讃の最後の一首です。

親鸞聖人全集の脚注によると、「如来大悲」は「阿弥陀如来、ひろくいえば弥陀釈迦二尊」であり、「師主知識」は「法然上人、ひろくいえば七高僧にわたる、知識を別にすれば聖覚法印、とおくは聖徳太

報 恩 講

子」とあります。

そして、親鸞聖人の忌日に行う報恩の集會講にあたって読む表白文を「報恩講式」と呼んで居ります。

私達は、親鸞聖人の御言葉に従って、親鸞聖人と御一緒に如来大悲の恩徳、師主知識の恩徳に報いるための、ホンコサマをつとめて居るのです。そして、これこそが真実の信心であって、祖先以来伝えられて来た無礙の一道であるわけです。

報恩講で読誦されるお正信偈は、親鸞聖人のみ教えの中核が述べられている大切な偈文です。

寺の報恩講でも、各自の自宅の報恩講でも、集える会衆一同が、お正信偈を声を出して読誦することが、報恩行の一つであります。

身を粉にしても骨を砕いても報じねばならない大きな大きな御恩。それを知らせて頂いたならば、せめて一年一度のホンコサマには、子も孫もお仏壇の前に座って、私達と一緒に声張りあげて、「お正信偈」をよんで頂きたいと思ひます。これこそが、文字通り御恩に報いる些やかな営みであるからです。

住職 雪山俊之



夏の二泊聞法法話

行信教校教授

利井明弘師



善導大
師のお言
葉に、聞
くという
は、漁受
(さんじ
ゆ)のこ
となり、

というのがあります。

漁受というのは食べるということ
とです。つまり、聞くということ
と食べるということは同じなんだ
ということなんです。

そういえば、よく聴聞しておら
れるおばあちゃんの話聞いてみ
ると、必ず、「味わってあります」
とか、お味わい、などという言葉
を使われる。お念仏のおいわれは
聞いてわかったり、覚えたりする
もんじやないんです。漁受、食べ
るんです。味わうんです。
食べるというのは一体どういう
ことでしょう。

十日前のごはん、覚えてますか。

いんだということわかっていただ
けたでしょうか。

では二つ目。食べたものは、貯
めなくていいんです。そうですね
十日前に食べたものをおなかに持
っている人、いませんね。いたら
病気で死ぬ。そうなんです。聞く
ということも同じなんです。あれ
聞いた、これ聞いたと、なんでも
貯めていると毒になりますよ。

みなさん、仏さまのみ教えは、
聞いて貯めるものでもございませ
ん。だから、一べん聞いた人も、
二べん聞いた人も、三べん聞いた
人もみな同じなんです。ほかの
ものなら、一より二、二より三が
いいはずですよ。ところが浄土真宗
では、一べん聞いても罪悪深重の
凡夫、二べん聞いても罪悪深重の

つと出てまいりまして」と答え
た。これにたいして鮮妙は「あな
た、ぼつぼつしか煩惱が出ません
か」といつてびっくりしたという
話があります。

聞けば聞くほど煩惱具足の凡夫
です。いいものは一つも貯まりま
せん。浄土真宗の聴聞は、覚えな
くていい、貯めなくていいんです。
でもね、一つだけ大切なことが
あります。それは何かといえます
と「欠かさず」ということです。
食べるのと同じですね。一カ月
食べなかつたら、死んでしまいま
すよ。それと同じで、ひと月お念
仏を味わうことをしなかつたら、
心が死にますよ。必ず死ぬといっ
ていいでしょう。
みなさん、今日一日、ごはんを

聞くは食べると同じこと

覚えず 貯めず 欠かさずに

うのは、覚えようとしなくても、
ちゃんと味となつて残るんです。
ですからね、お説教を聴聞しても
覚えなくていいんです。覚えよう
と努力することないんです。味は
おのずとついているんですからね。
生活の中でお念仏を味わっていた
だきたいと思うんです。

さて、聞くというのは食べると
いうこと、一つ目は覚えなくてい
い

いただくのと、お念仏のおいわれ
を聞くのと同じですよ。

聞くというのは
食べるということ。
覚えなくていいんです。
貯めなくていいんです。
けどね、欠かさず、毎日、
ただただなくてはけません。
そしたらね、仏さまのお心が
この私にうつってきます。

寺
こよみ

十一月

一日 お講 愛本新

空 華 忌

四 日 午後七時 お初夜
五 日 午前七時 晨朝
午前十時 日中
午後一時 満座
記念講話 利井明弘師

六 日 上野 報恩講
八 日 発願寺 報恩講
九 日 光闍寺 報恩講
一〇日 常照寺 報恩講
一一日 中陣 報恩講
一二日 出 報恩講
一六日 魚津 報恩講
一八日 中新 報恩講
二〇日 析沢 報恩講
二二日 浦山新 報恩講
二六日 石田 報恩講

いまが ありがたい
いまが すばらしい
一日一日 ツヤのある
うるおいのある 本物の
人生が生まれてきます。
それがお念仏のおはたらきなの
であります。

昭和61年(1986年)9月18日(木曜日)

言 言

言 言

しー随筆

題字は青柳志郎さん

「北斗くんちのお母さん
なんかすっごい歯をもらっ
たんだって」

「日本海美術展の大體だ
ろ。よかったね。お医者さ
んのおじいちゃんもとても
喜んでいらつしやったつ
て」

「その美術展に、野畑の
佐恵ちゃんちのお父さんも
入選したんだって？」

「そう、あの博おじさん
写真もうまいしさ、前に県
展で大賞とったこともあつ

たな。ほら、うちのお寺の
法事の写真を何百枚も張り

らは二十四点、そのうちの
三つだから大したもんだ」
「砺波の津山さんて美術
評論家のおじさんと話して
いたらさ、雪山さん、宇奈
月町の浦山には、ほかに、
日展作家の炭田さんや、パ
リ暮らしの戸出さん(洋画
家)、それに佐々木日出夫

ったんだよ。いまでも十人
近くいらつしやるんじゃない
かな」
「それが今度は表現の町
か……。そういえば雪ん子
劇団だって、新しい表現活
動だよな。この頃は太いに
は、こどもフェスティバル

そうそう、その浦山の雪
山さんちのお寺では、十八
七時半から、な
んとも風流な、狂言観覧会
が開催されます。出演は、無
形文化財保持者の、茂山忠
三郎さん一行。千門。時ま
さに中秋の名月。お月見か
ど、今年 たがた、表現の町浦山に、
是非のお運びを……。

浦山は表現の町

雪山 隆弘



込んだ作品。今度のもコラ
ージュだったけど、二点入
選だから、すごいね」
「浦山から三つもだね。
全部で九十九点で、県内か
町っていつて、先生がほか

さん(彫刻家)のアトリエ
もあるんですよ。新しい表
現の町の誕生ですわって」
「むかしは浦山は教育の
町で、先生が多か
そのうち二人が、雪ん子の

の高校放送コンクール、朗
読の部門で県の代表六人が
選ばれたんだけど、そのう
ち三人が浦山で、さらに、
宇奈月町)

宇奈月町を語る六人、
宇奈月町)

とやま

WEEKLY

昭和61年9月1日

と も し び

第139号 (4)



早くも芽ばえる恋心!?

玉池 三歳から六歳。今日はこのあたりの子供について話し合ってみよう。

雪山 しつけの問題や、兄弟の問題、いろいろありますね。萩原 私のところの下の子が生まれた時に、上がちょうど三歳やったですか。お父さん

よく、欲しいものが一つあるんや、というんで、店屋へ行つたんです。で、何が欲しいの? とその上の子に聞きましたらね。なんと、あれや、という。指差したほうを見ると哺乳ビンなんです。これが欲しかったんや。けど、今まで言えなかったんや、というんです。

いるところにくもんですからね。

篠原 そういえば、いま、私のところは下が半年、上が二歳半。最近よく耳にするのがお父さん嫌い、お母さん嫌いということばです。

雪山 大好きなんですわね。山本 そうですね。三歳くらいになると、感情の面も成長してきて、お父さんとお母さんはすばらしいんだとおもうようになります。男の子はお父さんのようになりたいと思うし、女の子はお母さんのようになりたいと思います。そして男の子は母親に、女の子は父親に、恋人のような気持ちをもつてですね。

雪山 早くも芽ばえる恋心ですか。いやしかし、萩原さんの話も、篠原さんの話も、まさに、恋心の裏がえしですも

小さなちがすこやかに育つよう願ってやみません——というご門主の「初参式についての消息」が、親鸞聖人のお誕生日に発布されました。これを「縁に」ともしび」では、「生涯聞法シリーズ」とともに語ろう。〇歳から一〇〇歳まで、をはじめます。人生それぞれの局面における問題を、お念仏にかおる環境の中で話し合ってみようというわけですね。

のね。さらに複雑なのは、そこにちゃんとライバルがいるということ。上も下も思い悩んで、火花を散らして大きくなってゆくんですね。



India. Eric Schwab UN

けんかのすすめ

玉池 その、火花だけど、近頃の子供は、兄弟けんかをあまりしなくなったように思うんだけど……。

雪山 そう、それははっきりと学者も指摘してますね。近頃のいじめの問題などを考えてみても、原因の一つは、小さいころに、家庭内で兄弟けんかを

していないからだ。それをやっておくと、人付き合いのルールが飲み込めるんだ。山本 そうですね。けんかだけではありませんけど、子供たちはとにかく人と人とのふれ合いの中でいろんな事を学んでゆくものだと思うんです。ところが、最近、幼稚園で観察してみても、このふれ合いの欠けている子が目立ちます。つまり、一人っ子だったり、カギっ子だったり、遊び相手がテレビだったり、ぬいぐるみだったりという子供ですね。こういう子は遊び方がわからない。ですから集団の中にボンと入れられると、もうなんでもぬいぐるみと同じで、気に入らなかつたら、相手かまわず、叩いたり、ひっぱ

たり、突き倒したり、それがとても衝動的で、度を超えていってなってしまうことがあります。家庭内にふれ合いが少ないと、どうしても、そういった自分中心の、相手の痛みのわからない子になるようですね。

雪山 親への恋心を忘れ、けんかもせず、ただおとなしくテレビを見て育つた子が、どのような子になっているか。私の知っている子供でこんなのがいます。とにかく幼稚園に行くのは月一回ぐらい。スクールバスに乗ったとたんコマーシャルとTVのギャグの連続で、教室へ入って先生が、さあ みんなで折り紙しな、なんていうと、ああ、知ってる、テレビで見たというだけで、実際に折ってみるとまてできない。そんな子になっちゃって、結局、登校拒否。山本 自閉的になって、数字やコマーシャルに出てくる字は全部覚えていくけど、じつと落ちつくことができず、先生と話をしても、目が合わない。そんな子は、間違いない、親でなくテレビに育てられているみたいですね。

おばあちゃんっ子はやさしい

玉池 私いつも、人は一人で生きているのではない、縁起の世界ですよっていつているんですが、いまこうして話をしている間に芋んだんだけどやっぱり、ふれ合いやね。テレビや物とのふれ合いじゃなく、人と人とのふれ合いのなかで、人は育つてゆくんだね。山本 本当にそうだと思います。これは私たちが幼稚園で子供たちを観察してきた中でのことなんです、三歳の子供でもいろんな個人差がありましてね、その子がどんなふうに育てられているか、どんな人とふれ合っているかがとても大事なことに思えるんです。

雪山 そのへんの違いを具体的に教えてください。山本 そうですね。大勢の家族の中で育った子供と、核家族の中で育った子供とは、まず言葉数が違います。それから、おじいちゃんおばあちゃんへのいらいしやる家庭の子供は、ずいぶんやさしく、思いやりがありますね。



Germany. Hannes Rosenberg

お念仏めかおる環境の中で

篠原 ホーッ
山本 一人きびしくしている子を見つけると、どうしたのかいって語りかけたり、先生あの子泣いてるよとか……。

雪山 これは、大変なことですよ。はつきりいつて最近、おじいちゃんおばあちゃんか自信を失っているんです。念仏の声を子や孫に……といつて

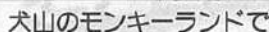
も、その孫への教育に参加できなくなっているでしょう。山本 遠慮してますね。雪山 そう、その遠慮をね、過保護だと取り違えている人

もいますけど、そうじゃないんだ。いらんことするなよと若い者にクギさされているからなにも出来ないでいるんですよ。ところが、いまの山本

先生のお話を聞いて、本当に胸のすく思いです。だってそうでしょ。小さないのちすこやかに……その子にやさしさを教え、思いやりのある子に育てられるのは、やさしいおじいさんおばあさんなんだ。玉池 そう。遠慮することないんだよ。自信を持って、孫を育ててほしい。お年寄りというのは、失われてゆくものの多い中で、それだけに自分のいのちというもののうけとめ方が実感的だと思えますね。そういういのちを、子や孫に伝える大事な仕事を、おじいさんおばあさんは持っているらしいやうなんだ。山本先生の、おじいちゃんおばあちゃんっ子はやさしい、思いやりがあるという話は、ぼくたちみんな、日本中のおじいちゃん、おばあちゃんに伝えてゆきたいですね。思いやりのある子、やさしい子、それこそが仏の子なんだものね。



昭和61年(1986年)9月8日 北 本 新 聞



楽しい思い出はいっぱい

雪ん子劇団地方公演に参加して

「うわあ、大變だなあ。四つも公演せんなん、いそがしいなあ」と、雪子劇団の夏の公演表をみせてもらったときそう思った。でも、その半面「いろんな所にもいけるぞ、楽しみやなあ」とも思った。

った。それどころか、仲間たちと毎日顔を合わせる事ができ、とても楽しかった。

七月二十九日は万箇山で最初の公演。参加者は三十八年の団員三十五人で「うちの父ちゃんえらいんだ」を行った。團長さんや保母さんらの前で一生懸命にした。ちよっとつまったところがあったけど、私としてはまあまあのできだと思った。最初の公演を無事終え、次の名古屋公演までま

た練習が始まった。一番楽しみにしていた名古屋公演なので頑張った。

八月三日、いよいよ名古屋公演。午前中は「うちの父ちゃえらいんだ」「この道」桃次郎の冒険」を行い、午後からは「ことば遊び」を発表した。変わった舞台のため舞台装置などいつもと違うやり方をしなくてはいけなかったので大変だったが成功した。

「この道」という劇では一輪車に乗る場面があったが、転びそうだったのでやめた。へへ考えるとやった方がよかったですかなあと思っている。

八月二十三日、のち波北部小
学校の公演では、一、六年生の

寺 こよ		十二月	
一日	お講・下立愛本	五日	下村・報恩講
二日	中ノ口・報恩講	六日	
三日	愛本新・報恩講	七日	
四日		八日	
五日		九日	
六日		一〇日	
七日		十一日	下立愛本・報恩講
八日		十二日	
九日		十三日	赤田・内山・報恩講
十日		一四日	
十一日		一五日	
十二日		一六日	音沢・報恩講
十三日		一七日	
十四日		一八日	
十五日		一九日	
十六日		二〇日	
十七日		二一日	
十八日		二二日	
十九日		二三日	除夜の鐘
二十日		二四日	
二十一日		二五日	
二十二日		二六日	
二十三日		二七日	
二十四日		二八日	
二十五日		二九日	
二十六日		三十日	

最後の公館は、大月町の中
央公民館。「桃次郎の冒険」
で紙芝居を取り出すところを
失敗したが、何とか終わりほ
つとした。みんなの力が集ま
り最高だったと思う。そして、
楽しい思い出いっぱいであ
り、すてきな旅だった。

私は今年で雪子劇団を卒業するが、中学校へ行ってからも照明係や団の世話係として参加していきたいと思う。

栗沢町栗沢小6年
栗沢 明子

昭和61年7月30日

富 山 新 聞

正しい
言葉で

豊かな人間性を

富山県宇奈月町の「こども
の教室雪ん子劇団」(代表・
雪山隆弘さん)が二十九日、上平村で開かれた浄土真宗系
金園保育園長会議で、ミュー
ジカル「うちのとうちゃん
えらいんだ」を上演した。八
月三日には、名古屋市のプロの「劇団うりんこ」の劇団に
招かれ公演することになっ
ている。正しいきれいなことば
遣いで豊かな人間性を、とい
う趣旨で指導された小学生だけのユニークな児童劇が広く
評価され始め、活動の夏休番
に入った。雪ん子劇団は善巧寺若院で
元プロ劇団にいた雪山隆弘、
元民放局アナウンサーの玲子
夫婦が指導している。こども
公演し、定着した活動を行った来を食べている」、大工の
子は「お前の家はうちの父
ちゃんが作ったんだぞ」と反

人気呼ぶ雪ん子劇団

(本報
宇奈月)

3日には名古屋で公演

と体の動きをほつきり美しく
表現できる子にと始めたこと上平村さくら館での五箇山
公演のミュージカル「うちの
だ」と共通の理解で仲良くな

る。

「遊びの中で子供は親のど
ういうところを受け継いでい
るか。人は育てる側によって

育つということを、一つの芝

居で示したかった」というの
が雪山さんの問題提起の趣その具体的な活動が児童劇
で、昨年の夏には新潟県佐
渡で開かれた「こどものたアキラが「うちの父ちゃん
えらいんだ」と自慢する
ことからは始まる。農民の子は
「おれんちの父ちゃんが作った来を食べている」、大工の
子は「お前の家はうちの父
ちゃんが作ったんだぞ」と反発し、アキラは仲間外れに
される。やがてそれぞれに
「うちの父ちゃんえらいんだ」と共通の理解で仲良くな
る。「遊びの中で子供は親のど
ういうところを受け継いでい
るか。人は育てる側によって

育つということを、一つの芝

居で示したかった」というの
が雪山さんの問題提起の趣

雪ん子劇団のミュージカル「うちのとうちゃんえらいんだ」

旨。約二百人の全国の保育園
ちのとうちゃんえらいん
長らから共感の拍手がおくら
れた。うりんこ劇団での名古屋公
演は、愛知県内の教員を対象
とする「雪ん子劇団と学芸会
指導入門」(名古屋市長委
団の子供たちを相手に実際に
後援)として行われる。「う
指導する。

世界へ…の心集めよう

み仏とみなさまのおかげにより
このごちそうをめぐまれました！
と食前のごあいさつをしていな
ら、そのめぐまれたごちそうのむ
こうで年間千五百万人のこどもた
ちが飢えて死に、私たちがわり箸
一本使い捨てるその木の原産地で
は干ばつ、砂漠化が起きはじめ、
飢餓難民をさらに増やそうとして



いる……これではいけない。本堂
に思い上がった私たち、せめて、
ごめんなさい、と気がついたとき
にあやまろう、それを寺の「世界
へ」の募金箱に入れよう——と、
呼びかけています。
はじめてから三ヵ月たって、こ
のほどの募金箱をあけてみまし
た。百日間で、合計一万九千九
百円。現在、寺では毎月一万五千円
ずつ、国連の難民救済事業「緑の
木一本運動」に送金しています
この募金もその一部にあてさせて
いただきます。
緑の木一本運動はこれから百年

かけて世界中の荒野に緑の木を一
兆本植えてゆこうという運動です。
みなさんも念仏の心を子や孫にと
いうお気持ちがあれば、ぜひ、気長
にこの運動にご協力下さい。



夢の門球大会

夏の一泊間法明の八月七日、
寺の境内で、第三回夢のゲートボ
ール大会が行なわれました。

住職入院・経過良好

胃のポリプの処置で九月十六
日に黒部市民病院に入院した住職
は、その後の経過は良好で、十月
上旬には退院でき、寺の報恩講に
は元気に出勤できるようです。

九月十四日 日曜日 曇
身辺整理。と云っても身辺に
あるのは書物、書類、ノート、
手紙の類で、骨董品、株券など
は一点もない。俳句手帖があっ
て、俳句五千句と書いてある。
今年三月三十日、発心して毎日
最少限一句を書きしるすことに
し、数えて見ると、今日で三百
七十九句作ったことになる。五
千句までは中々だ。虚子の流れ
の花鳥諷詠の囑目吟だが作り
っ放し、書きっ放しで、肝心の
推敲と云うことをやっていない。
誰れに見せると云うではなく、
ただ私だけの愉しみである。
九時、板屋から十二名。十一

時からの自宅法事の寺詣りである。
本堂にて「東方偈」
十時半出発。北陸自動車道黒部
I.C.の傍らを通って八号線に出
る。更に黒部川をわたり、
左折して板屋に向う。途
中一面の水面。刈り入れ
の最盛期迄には、一週間
近くあるだろう。
S家に着く。法会に集
うもの五十人。僧侶も私
達四人の他に、三ヶ寺か
ら来て下さっている、新
浜、中沢、前沢のお寺である。御
両親の法要で、当主は長らく校長
をつとめた方である。
読経約一時間。終わって説教。



住職日記

今日は、特に蓮如上人、七高僧を
お迎えしての法要なので「御文章」
をテーマにして、白骨のお文を引
かせてもらう。実は先日、泊・常
光寺住職から「白骨の
お文にさす唐詩のかげ」
と云う小冊子の寄贈を
受け、一読色々参考
になること多かったの
で、早速説教に使わせ
て頂いたわけである。
終わって例の如く皆
んなで饗応に預かる。
色々な方々から色々なお話を伺え
るのが、何よりの楽しみである。
その中の一つ。兄貴が富山の豊田
で喫茶店を開いたと云う話。店の

秋の海

光りて
其処に 能登半島

稲穂波

ふるさと
黒部 扇状地

合 掌

七月。うらやま日曜学校が十
周年を迎えました。最初の卒業生
はもうりっぱな社会人。そろそろ
OB会というか、青年会というか
そんなものを考えてもよい時機の
ようです。

八月。夏のこども盆踊り大会
も今夏十周年。夢を語る会のおじ
さんの夢が広がって、ほんとに楽
しく、にぎやかな催しです。今回
は記念にと抽せん会で賞品トッサ
リ。来年からは夜店もさらにふえ
そうです。

九月。仲秋の名月の十八日、
「茂山忠三郎狂言の会」を催しま
した。洗足学園の学長や、入善の
町長や、遠く富山からかけつけた
愛好家などで本堂はにぎやかなお
集まり。とにかく最高のおもしろ
さ。演者の無形文化財、茂山さん
も「こんなに気持よくできたのは
久々」とよろこばれるほどでした。

十月。三日は若手の落語会。
そして中旬すぎると、いよいよ、
ホンコサマのシーズンイン。

